

3年学年だよ

根上中学校第3学年 学年通信
令和元年11月13日(水)
No.43

～文化祭を終えて Part2～

「皆と創り上げた文化祭」

自分は今回の文化祭を通して多くのことを学ぶことができました。その中で二つのことについて書きたいと思います。

一つ目は友情です。これは演劇と合唱コンクールの両方に言えることでした。演劇では自分が台詞を覚えるのに苦戦しているときに友達が自分の台詞の一つ前を読んでくれたり、アドバイスをしてくれたり等色々なことをして助けてくれて本当に今も感謝しています。合唱コンクールでは、一人一人が声を出し、お互いの声を聞くことで音程を確認しあったり、試行錯誤ができて、よりよい合唱をすることができました。これも最優秀賞が取れた一つの要因ではないかと思



かと思

います。二つ目は集中力の大切さです。これも両方の分野に当てはまると思

います。演劇では、練習の時から本番を

意識してやるため、キャストに集中力も大切だと感じました。本番でも役になりきるために演劇に集中し、一つ一つの台詞に気持ちを込めるために集中しました。合唱コンクールも同様に、本番・練習関係なく、ピアノの音程や指揮者のリズムに合わせるために集中をしていました。

他に文化祭で学んだこともあります。それは、これからの人生で、きっと役に立つ日が来ると思うので、文化祭でのことはしっかりと今後



「文化祭を振り返って」

僕は今年の文化祭は今までとは違い「特別なものだったなあ」と感じました。あっという間に終わってしまったけれど、楽しむことが出来たし、みんなの個性が良く出ていた文化祭でした。

一つ目の演劇では、キャストのみんながとても格好良かったし、それを支えるスタッフのみんなが本番に向けてしっかり準備して頑張ってきたということが伝わる演劇でした。キャスト一人一人の表情や態度、そして長い台詞を、役になりきって言っている姿に感動しました。また、話の内容も人間関係について考えさせられることで良かったし、笑いもあって見応えがあったと思います。

二日目の合唱コンクールでは、とても緊張しました。課題曲も自由曲もそれぞれのポイントに気をつけて歌うことができました。結果は最優秀賞を取ることができて、とても嬉しかったけれど、それ以上にクラスのみんなと、色々なことがあったけれど、最高の合唱を創り上げることができたことが一番嬉しかったです。最後の学年合唱では、3年生らしく、堂々と歌うことができて楽しかったし、良い思い出になったと思います。

文化祭を通して、クラスや学年の絆が深まったと思います。これからはスイッチを切り替えて、受験に向けて頑張っていきたい



です。

「絆の文化祭」

中学校最後の文化祭があった。運動会に引き継ぎ3年生が中心となり創り上げる行事だったので、とてもワクワクしていた。僕達のクラスは合唱コンクールで2冠を狙っていて、その目標を胸に練習を頑張った。初めの方は男子の声が女子の声の大きさに合っていないくて、音楽の長谷川先生にたくさん注意され、嫌

になることもあった。でも体育館やタントの練習を重ねて、自分達の歌っている動画をクラスのみんで見て、ダメなところを修正して行くうちに、男女の息も合ってきて声も出るようになった。声が出るようになって来て、僕達はさらに合唱を完成に近づけようと、まず歌詞の意味を知ることから始めて、意味が分かってきたら、次は歌う場面によって強弱をつけて歌う練習をした。そして僕達の歌が完成した。合唱コンクールの前に日になり、初めて長谷川先生や校長先生に誉められるような合唱ができ、本当に嬉しかった。そして次の日になり当日を迎えた。

僕達は朝早くから声出しと歌練習を充分にしてタントに向かった。僕達の合唱は全学年で最後だったので、1・2年生や3年生の他のクラスの合唱を聴き、良い刺激を貰った。

僕達の合唱の番になり、今まで頑張って来た成果を出そうと、みんな真剣だった。「モルダウ」も「あなたへ」も今までで一番良い合唱だった。歌い終わったときに達成感に満ちあふれて、あとは結果を待つだけだった。

昼食を食べ終え全体合唱も終わり残すは結果発表だけだった。残念ながら結果は賞も取れず駄目だったけど、クラスのみん

なが全力で歌いきったので悔いは無かった。最後に、今までぼくたちの側で合唱を支えてくれた山上先生や中谷先生、長谷川先生とその他の先生方に支えられ、こんなにも良い合唱ができたと思うので、すごく感謝しているし、この文化祭を終えて、3年4組の絆が深まったと思うので、とても良い文化祭になった。次は受験に向けて勉強を頑張っていきたい。



「中学校最後の合唱コンクール」

文化祭二日目。いよいよ待ちに待った合唱コンクール。人生でラストになるかも知れないというこの1年生や2年生の時とは違った思いで臨む合唱コンクール。私達のクラスの自由曲は「あなたへ」で、放課後の合唱練習は試練の繰り返しが多かった。私達の合唱から思いが伝わってこない等と厳しいこともたくさん言われ、クラスで歌詞の意味も考えたが、なかなか私達の合唱は変わらなかった。私は「旅立って行く大切なあなたへのメッセージを届けたい！」しかも旅立っていく人は「毎日が苦しくてすさんでいた時に手と手を取り合った人」「手のぬくもりをくれた人」「信じ合える喜びを教えてくれた人」で今、心から大切に思っている人なのだ。想いを「あなた」へ届けようと心一つに、全力で歌い切ることを目標に本番を迎えた。私達のクラスは全体の最後で、ずっと緊張が続いていた。前のクラスが歌っているときは、緊張がピークに達していた。

いよいよ私達の番。合唱は技術なんかではない。最後はクラスの気持ちの勝負。ここまで家でも学校でも、たくさん練習し頑張ってきた私達なら、きっと大丈夫だろうという思いを胸に、全力で歌一切った。歌い終わった後は、これまでに感じたことも無いほどの達成感、忘れられない。結果は賞を取れなかったが、それ以上にこの合唱を通してもっと素晴らしいものを得られた。中学校最後の合唱コンクールは最高の思い出となった。

